

転換期に、大きく前進!

菅良二今治市長は今年2月、無投票で3期目を迎えることとなり、人口16万人を超える県内第二の都市のかじ取りを担います。特に2017年度は、えひめ国体・えひめ大会の開催、

獣医学部の新設、新ごみ処理施設の完成と今治市の変革の時でもあります。そんな今治市が転換期を迎える今年、菅市長にこれからのまちづくりについてを聞きました。

2017年、今治市は変わります!!

行事・イベントも満載!

FC今治ホーム スタジアム8月完成予定

8月に完成予定の「ありがとうサービス・夢スタジアム」通称:夢スタ。今治新都市第一地区のスポーツパーク内に建設中。



えがお 愛顔つなぐえひめ国体 開催

9月30日から10月10日までのえひめ国体では正式競技6競技、10月28日から30日までのえひめ大会では、正式競技2競技が今治市で開催されます。

今治市民のまつり 「第20回おんまく」

8月5日、6日に開催される記念すべき20回目を迎えるおんまく花火も14,000発打ち上がる他、有料の観覧席も設置。継ぎ獅子などの郷土芸能や踊り連らのパフォーマンスは必見!



新クリーンセンター 平成30年3月完成!

最先端の処理技術だけではなく、防災拠点としても万全な災害対策を行える施設。平成30年4月の稼働に向け、現在建設中。

来春、新ごみ処理施設 万全な災害対策も

「るたくさんの皆様を、おもてなしの心でお迎えするとともに、今治の魅力を全国に発信していきます。」

記者

「昨年、今治港にみなど交流センター」は

市長

「はーぱりー」は交流の拠点として、各種イベント、フォーラム、展

「はーぱりー」が完成し、今治市に新たな交流拠点が誕生しました。来年3月には、新しいごみ処理施設が完成予定だと思えますが、防災拠点にもなっていますよね?

「安全安心で、人と地域と世代をつなぐ、いまを基本コンセプトとしており、平成30年4月

の稼働開始に向け、現在全力で取り組んでいます。施設は最先端かつ最適な処理技術により、厳しい公害防止基準をクリアしているほか、防災拠点としても万全な災害対策を行います。3,200人が避難でき、非常用発電機により、避難所への電気供給も可能と

なっています。また新都市については、市営スポーツパークに整備を進めていた人工芝のサッカー場が3月に完成しました。その他、日本食研の新工場の建設も始まりま